

日本語用論学会 (PSJ) 第 27 回大会のご案内

日本語用論学会第 27 回大会は、以下のとおり、大阪大学豊中キャンパス（大阪府豊中市）での開催を予定しております。

◆日時：2024 年 11 月 30 日（土）、12 月 1 日（日）

◆場所：大阪大学大学院人文研究科（豊中キャンパス）（大阪大学大学院人文学研究科共催）

開催校本部：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町 1-8

文法経講義棟 [学会会場]：〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町 1-5

（アクセスについては p.4 「[大会会場について]」をご参照ください。）

★ 開催方法変更時の案内について

社会情勢の影響によりオンライン開催へ変更する場合は、学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストで告知します。（*特別講義・基調講演・会長就任講演・シンポジウムは、ハイブリッド開催を予定しております。）

◆ 主なプログラム

大まかなプログラムは以下を予定しております。タイムスケジュールや変更点など、詳細は、追って学会公式ウェブサイトと会員メーリングリストでお知らせいたします。

【大会テーマ】

「語用論、日本語学、逸脱」

≪11 月 30 日（土）≫

☆特別講義

☆ワークショップ

☆研究発表

☆ポスター発表

☆会員総会

☆基調講演

☆懇親会

≪12 月 1 日（日）≫

☆研究発表

☆会長就任講演

☆語用論茶寮（昼休み）

タイトル：研究会の作り方、育て方、楽しみ方

講演団体：HiSoPra*研究会、

デジタルコミュニケーション研究会

☆シンポジウム

【基調講演】

「翻訳話体と小説：村上春樹作品を例に」

講演者：金水敏（放送大学大阪学習センター所長・大阪大学名誉教授）

要旨：中村桃子（2013）では、翻訳・吹き替えにおいて女性は「女ことば」、男性は「翻訳版・気さくな男ことば」を用いるとし、後者は「やあ／さ／かい／だい」という指標によって特徴付けられるとしたが、これらの特徴は村上春樹の小説作品に広く見られるところで、村上春樹は日本語の小説に翻訳話体を大胆に持ち込んだ最初の作家として位置付けられる。今回はこの特徴に加え、「言いさし+ネ」構文を取り上げたい。これは「完璧な文章などといったものは存在しない。完璧な絶望が存在しないようにね」（『風の歌を聴け』冒頭）のように、言いさし文にネを付けて、先行する文との関係を表示する構文であり、英文翻訳に広く見られるものである。本講演では、助詞「ね」の談話的機能の考察と併せて、村上春樹の小説に見られる「言いさし+ネ」構文の起源と機能について考える。

【特別講義】

タイトル：後日掲載

講演者：Wei REN (Beihang University)

【シンポジウム】

タイトル (仮)：「言語コミュニケーションのなかの逸脱と創造性」

登壇者：天野みどり (大妻女子大学)、野田春美 (神戸学院大学)、泉大輔 (立教大学)

◆ 発表募集

発表形態は、口頭発表、ポスター発表、ワークショップの3種類です（発表言語は、日本語ないしは英語）。各スケジュールと応募要項は以下をご覧ください。皆様のご応募をお待ちしております。

- 投稿締め切り：2024年8月4日（日）23:59 JST
- 採否通知：2024年9月下旬頃
- 大会発表要旨（Abstract）原稿締切：2024年10月中旬頃

◆ 応募要項

①申し込み資格

口頭発表・ポスター発表の第一発表者、ワークショップの代表者として発表を申し込むには会員である必要があります。なお、ワークショップは司会者を含め3名以上の団体である必要があります。

②発表テーマ

語用論研究と関連するテーマであれば自由。

③発表形態と発表時間

- 1) 口頭発表：発表 25 分 + 質疑応答 10 分
- 2) ポスター発表：1 時間（掲示時間）
- 3) ワークショップ：1 時間 40 分

※1. 新型コロナウイルス感染症に関わるやむを得ない事情が生じた場合には、すみやかに大会発表委員会にご相談くださいますようお願いいたします。

※2. 社会状況を鑑みてオンライン開催となる場合もあります。予めご承知おきください。

④発表言語：日本語または英語

⑤申し込み先

発表の申し込み先は、学会ホームページの会員専用ページ「マイページ」内にあります。学会ウェブサイトにて詳細をご確認の上、「大会発表応募ページ」よりご応募ください。

⑥申し込み原稿の形式

発表の種類にかかわらず、申し込み原稿はすべて同じ形式です。

用紙サイズ：A4 縦

規定文字数：日本語 2,500 字以内、英語 500 words 以内。日本語の場合は文字数を、英語の場合は word 数を、原稿の末尾に記入してください。

ファイル形式：Microsoft Word 形式（doc、docx）、PDF 形式（pdf）

- ・氏名と所属は記入しないでください。
- ・発表タイトルを1行目に、タイトルの下に1行空け、次の行から本文を記入してください。
- ・ワークショップの場合は、発表者全員分の要旨が規定文字数・word数に収まるようにまとめてください。
- ・文字数とword数には、例文、表、キャプション、注釈を全て含みます。ただし、図形内のオブジェクトに添えられた文字や参考文献は含みません。日本語原稿の中にアルファベット等の半角文字を含む場合、半角文字2文字を1字と数えます。
- ・参考文献の書式は『語用論研究』に準じます。
- ・指示された形式やファイルフォーマットに従わずに申し込んだ場合、内容にかかわらず不採用となることがあります。
- ・タイトル（サブタイトルを含む）は、（大会発表委員会、大会総務委員会から依頼する場合を除き）一切変更はできません。採択や発表後に公表される「プログラム」「要旨集」「大会発表論文（Proceedings）」に掲載されるタイトルは、申込時のタイトルとなります。なお、発表応募時に（「マイページ」内の）「大会発表応募ページ」に記入するタイトルと、ファイルで提出される申し込み原稿内のタイトルが一貫しているか、入念にご確認をお願いいたします。

⑦申し込み原稿の留意事項

申し込み原稿には、表現や構成のわかりやすさと説明の一貫性が求められます。かつ、以下のような点について過不足なく論じる必要があります。

- ・問題となる現象
- ・その現象についての先行研究と問題点
- ・現象の分析に用いるデータ
- ・現象の分析方法
- ・現象の分析結果
- ・分析結果に基づく結論と理論的含意

⑧申し込み制限

一人の会員が発表者として申し込みできるのは、一大会につき2件（ワークショップ含む）までです。かつ、第一発表者、または、ワークショップの代表者として申し込みができるのは、一大会につき1件のみです。

⑨二重投稿の禁止

申し込みにおいては、二重投稿を禁止します。大会発表委員会が二重投稿と認めた場合、その申し込みは受理されません。かつ、次年度の大会においても、当該者を発表者に含む申し込みは受理しません。

※1. 二重投稿とは、他の学会で既に発表した、もしくは発表を申し込み中である内容、または、既に学術的刊行物に掲載された、もしくは投稿中である論文と極めて類似する内容で申し込むことを指します。

※2. 学士論文・修士論文・博士論文は、公表や出版がされていない場合、「学術的刊行物」には含めません。

※3. 学会の発表や学術的刊行物の掲載へ応募したものであっても、既に不採択が決定している内容を申し込む場合は、二重投稿に含まれません。

⑩選考結果の通知

選考結果は、9月下旬に第一発表者、または、ワークショップの代表者宛に通知します。

⑪No Show に対する措置

発表が採択されたにもかかわらず、大会当日に大会発表委員会に無断で発表を行わない場合や、ポスターの掲示のみで説明を行わない場合は、これらを「No Show」とみなし、学会ウェブサイトにて公表します。ただし、事前、または、当日に（やむをえない場合には事後に）、発表を行えない（行えなかった）合理的な事情の説明がある場合には、「キャンセルされた発表」とします。

◆ 問い合わせ先

発表申し込みに関するお問い合わせは、下記アドレス宛に7月29日（月）までにお問い合わせいたします。

E-mail : presentation -at- pragmatics.gr.jp （大会発表委員長・早野薫宛）

◆ 第27回大会会場・大阪大学（豊中キャンパス）への交通・宿泊について

[大会会場について]

[開催校本部]：〒560-0043 大阪府豊中市待兼山町1-8 大阪大学大学院人文学研究科

[学会会場_文法経講義棟]：〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町1-5

最寄駅・所要時間：阪急電車宝塚線「石橋阪大前」駅（急行停車）下車 東へ徒歩約15分

または、大阪モノレール「柴原阪大前」駅下車西へ徒歩約10分

アクセス情報：<https://www.hmt.osaka-u.ac.jp/infomations/access/>



[宿泊について]

大阪大学豊中キャンパス近辺にはあまり宿泊施設はございません。大阪梅田駅周辺はキャンパスへのアクセスも良く、宿泊施設も豊富です。

[昼食について]

当日は、学内の食堂はほとんど営業しておらず（図書館下食堂のみ、時間限定で営業）、コンビニエンスストアも学外の2店のみ営業しています。昼食は持参いただきますようお願いいたします。